

嫌われても皆の為にいつ迄も

二月十九日 水曜日 嫌われても皆の為にいつまでも

おばあちゃん、二十分遅れて 起こしにくる、
寝過ぎた為らしい。

きのう、僕は早く寝た。
いつも 早く寝ているので、
睡眠取りすぎで、
長く、ぐっすり、
眠られなくなっていた。

それで、もう 一時頃には
目が覚めてしまった。

下に降りたら、
母と父と兄が 居間で コタツに向かい合って
話している中に、僕も加わる。
大学進学費用、家計の話だった。

居間のとりの部屋で、京太と幹夫と一緒に、
横で 寝ていた おばあちゃんには
耳ざわりだったのだろう。
それで、眠りが 足りなく、
朝、おばあちゃん、時間の感覚がくずれ、
ウトウトだった様だ。

まあ、仕方のない事。

かなり遅く迄、話が続いている様だった。
僕は眠れないので、部屋に戻り勉強。